

# 白内障手術「材料費の高さ考慮を」 自民・眼科議連で学会

2017年11月30日 17:54

メディファクス 2017年11月30日掲載  
[許諾番号20171218\_01] 株式会社じほうが  
記事利用を許諾しています。

自民党の「眼科医療政策推進議員連盟」（田村憲久会長）の総会が30日に開かれ、日本眼科学会の大鹿哲郎理事長が白内障手術について、外科手術の中で医療材料費の割合が最も高く、コスト面で苦境にあると訴えた。

大鹿理事長は、材料の中でも眼内レンズとディスプレイ製品が高額で、特定保険医療材料ではないと指摘。単回使用医療機器の再使用に関する法的整備の必要性にも触れた。白内障手術によるメリットとしては▽鬱症状や認知機能の改善も期待できる▽医療費を抑制し、身体障害者の発生を未然に防ぎ、社会的支援費の発生や労働生産性の低下を回避することで、総計で年間5600億円の社会的利益をもたらす一などを挙げた。

また日本眼科医会の山岸直矢副会長は、白内障医療費の効率化について「そろそろ限界になっている」と強調。2011年に同会が行った緊急調査では、1132病院のうち▽眼科医師数の減少（22.9%）▽白内障手術数の減少（25.0%）▽白内障手術の中止（8.5%）▽眼科閉鎖（3.7%）一などの結果だったと説明した。第21回医療経済実態調査の結果を踏まえ「16年度診療報酬改定の結果、眼科診療所が最も大きく抑制されたことが示されている」とも述べた。

これに対し武見敬三参院議員は、コストに見合う診療報酬を設定しなければ、診断の質の低下などにつながると指摘。厚生労働省保険局の迫井正深医療課長は「無理な願いをすると診療の質が下がってしまう。（同議連や眼科の）先生方からご指導いただきながら、しっかり対応したい」と述べた。

## 【国会・政党】の最新記事

診療報酬「本体プラス改定を」、厚労省に要望へ 公明・社保調査会 (2017年11月30日 20:23)

加熱式たばこ、適正課税求める声も 自民・税調小委 (2017年11月30日 18:50)

予算編成大綱に向け議論、薬価改革に懸念も 自民・厚労部会 (2017年11月30日 18:10)

参院厚労委でも加藤厚労相が所信 来月5日に質疑 (2017年11月30日 17:24)